

神戸市会議員



岡田ゆうじ

市会議員団市政報告

真剣勝負！神戸再生宣言！

【岡田ゆうじプロフィール】 ●昭和 53 年 6 月 25 日生まれ (39 歳)
●慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
●国会議員政策担当秘書資格試験に合格●参議院議員末松信介政策担当秘書
●平成 29 年 10 月神戸市会議員補欠選挙にて 27,279 票を得て初当選



2018.5

No. 7

いじめをなくせ

一昨年 10 月、垂水区内で中学 3 年生の女子生徒の方が自殺を図り、亡くられました。市教育委員会が設置した調査委員会は、いじめ防止対策推進法に定める「いじめ重大事態」として調査を行ない、報告書を作成しました。

しかしご遺族からは、調査が不十分で、いじめを生んだ生徒間の人間関係や学校の対応の問題点が明確になっていないため、調査のやり直しが求められました。

神戸市会でも、自民党の私はもちろんのこと、新社会党や共産党の議員まで、あらゆる会派の議員から追加調査・再調査の要望が出されましたが、市教委は一貫して拒否し続けて来ました。

しかし調査の核となるべき、被害者の方の葬儀のすぐ後に行なわれた同級生らの聞き取りメモが、市教委によって隠ぺいされていたことが、先月下旬明らかになりました。市会からの猛烈な追及を受け、久元市長もついに再調査を行うことを言明し、市教委を事務局としない、新たな調査委員会が発足します。

今回の悲しい、痛ましい事件を、神戸市全体の教育行政の将来に資する教訓、糧に変えていなければなりません。神戸のこどもの尊い命が失われたこの事件は、遺族の方だけの悲しみでなく、神戸市民全体にとっての悲しみでもあるはずです。

市会文教こども委員会の一員として、垂水区民として、しっかりとこの問題に取り組んで参ります。



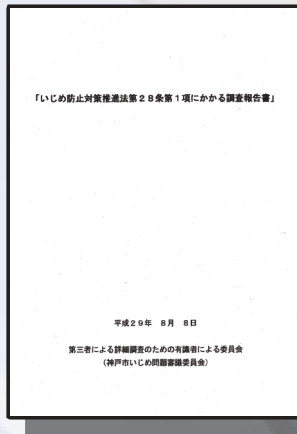
垂水区中学生いじめ自死事件の原因調査に関するこれまでの経緯

2016年10月

- ・垂水区の川で市立中学校3年の女子生徒が亡くなっているのが発見された。
- ・市教育委員会の附属機関「神戸市いじめ問題審議会」が調査を開始。

2017年8月

- ・調査報告書がまとまり、いじめ行為が存在したことを認定。しかし、いじめが原因で自死に至ったとは結論付けず。
- ・学校側から、報告書において「破棄した」とされた、同級生らの聞き取りメモが、実は破棄されておらず現存することが市教委に伝達されるものの、放置・隠ぺいされる。



【報告書の問題点】

- そもそも第三者性がない（市教委の附属機関が調査）
- 市教委の対応を賛辞する内容が多く
市教委や学校の対応の問題点を明確にしていない
- いじめを生んだ背景や経緯についての調査が乏しい
- 遺族が完全公開を望んでいるにもかかわらず、黒塗りが多い

2017年9月

- ・遺族が調査委員会に対し、追加調査を申し入れ。

2017年12月

- ・調査委員会が、遺族が求めている追加調査を行わない旨を公表。
- ・市会文教子ども委員会で、自民党の安井俊彦議員が、これまでの市教委の対応について批判。

2018年2月

- ・遺族が文部科学省に直訴し、追加調査を要請。
- ・市会文教子ども委員会で、自民党の岡田ゆうじ議員より、再調査を求める発言。

2018年3月

- ・遺族から調査が不十分であるとの所見が市教委に提出される。
- ・学校側から再度、同級生らの聞き取りメモが現存することが市教委に伝達。しかし放置・隠ぺいされる。
- ・市会文教子ども委員会で、自民党の岡田ゆうじ議員より、雪村教育長らの責任を求める発言。
- ・雪村教育長が退任。

2018年4月

- ・遺族が市長に調査継続の申し入れ。
- ・市教委が黒塗りの報告書を市会文教子ども委員会の議員に開示。
- ・長田淳・新教育長が、破棄したとされていたメモが存在することを公表。
- ・久元市長が再調査の実施を表明。



「垂水区で長生きして良かった」と思える街にしたい

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-15-9-3F
TEL: 078-785-5171 / FAX: 078-785-5172

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayu.ji.net
www.okadayu.ji.net

